

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】 第 5 部門第 3 区分  
【発行日】 令和 6 年 8 月 1 日 (2024.8.1)

【国際公開番号】 WO2023/190507  
【出願番号】 特願 2024-512560 (P2024-512560)  
【国際特許分類】

F 2 8 F 1/12 (2006.01)  
F 2 8 F 21/08 (2006.01)  
F 2 8 F 21/02 (2006.01)  
F 2 8 F 21/06 (2006.01)  
F 2 8 F 3/08 (2006.01)  
F 2 8 D 9/02 (2006.01)  
F 2 8 D 1/053 (2006.01)

10

【F I】

F 2 8 F 1/12 Z  
F 2 8 F 21/08 Z  
F 2 8 F 21/02  
F 2 8 F 21/06  
F 2 8 F 21/08 A  
F 2 8 F 3/08 3 0 1 A  
F 2 8 D 9/02  
F 2 8 D 1/053 A

20

【手続補正書】  
【提出日】 令和 6 年 5 月 17 日 (2024.5.17)

【手続補正 1】  
【補正対象書類名】 特許請求の範囲  
【補正対象項目名】 全文  
【補正方法】 変更

30

【補正の内容】  
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

流体の流れる流路を区画する流路部材 (300) と、  
前記流路部材に対し接着剤 (610) により接着されたフィン (400) と、を備え、  
前記流路部材及び前記フィンのうち、少なくとも一方の被接着面には、前記接着剤との  
共有結合を促進するための皮膜層 (301, 401) が形成され、  
前記皮膜層は親水基を含み、水酸化アルミニウムを含む、熱交換器。

【請求項 2】

2 つの部材が互いに接着されている接合部には、  
第 1 接着剤により接着されている第 1 接着部と、  
前記第 1 接着剤よりも熱伝導率の低い第 2 接着剤、により接着されている第 2 接着部と  
が含まれる、請求項 1 に記載の熱交換器。

40

【請求項 3】

前記第 1 接着部により前記流路部材に対し前記フィンが接着されている、請求項 2 に記  
載の熱交換器。

【請求項 4】

前記第 1 接着剤は、熱伝導を促進するためのフィラーを含んでおり、  
前記第 2 接着剤は、前記フィラーの含有量が前記第 1 接着剤よりも少ない、請求項 2 に  
記載の熱交換器。

50

**【請求項 5】**

前記第 1 接着剤は、熱伝導を促進するためのフィラーを含んでおり、

前記第 2 接着剤は、前記フィラーを含んでいない、請求項 4 に記載の熱交換器。

**【請求項 6】**

前記フィラーは、接着対象である前記流路部材又は前記フィンに含まれるいずれかの元素、当該元素の酸化物、当該元素の窒化物、のいずれかの材料で形成されている、請求項 4 に記載の熱交換器。

**【請求項 7】**

前記フィラーはカーボンである、請求項 4 に記載の熱交換器。

10

20

30

40

50